

## 第7回 中国地方の防災に関する連絡会

---

### 平成29年度 中国地方の防災に関する連絡会の 取り組み報告

平成30年1月18日

## 平成23年3月11日 東日本大震災

M9.0の地震が発生、その後観測史上最大の津波が沿岸地域を襲い、東北地域に未曾有の被害をもたらした。発災直後、直ちに被災状況調査、啓開を経て、応急・復旧活動が実施され、全国各地から各機関が広域応援に携わった。この時の災害対応の経験や課題を、今後発生するであろう大規模災害に活かす必要がある。

## 中国地方における大規模地震に対する検討会(平成23年6月～平成24年1月)

本検討委員会では、東日本大震災で得られた教訓、課題を検討し、襲来が予想される大規模地震に備え、想定地震・津波、想定被害およびその対策について、4回にわたり、中国地方特有の課題を踏まえた議論を重ね、その結果を報告書として取りまとめられた。

## 中国地方の防災に関する連絡会(平成24年3月発足)

### ●設置の趣意(平成24年3月7日第1回連絡会で設定):

東日本大震災をはじめとする広域かつ大規模な自然災害が全国各地で発生しており、さらに南海トラフ巨大地震も今後その発生が懸念されている。これら広域かつ大規模な災害が発生したときには、防災関係機関の広範囲で協力的な連携による災害応急対策や迅速かつ円滑な災害支援活動が必要となる。

このため、**広域かつ大規模な災害時に中国地方を管轄する防災関係機関が連携し、災害対策を効果的に実施できるよう、平常時から情報共有、施策の連携・調整を行い、国民の生命、身体及び財産の保護に資することを目的**とした「中国地方の防災に関する連絡会」を設立した。

### ●運営要領で定める活動内容:

1. 会員が保有する情報の提供及び会員が実施している**防災対策に関する意見交換**
2. 災害の未然防止、被害の拡大防止及び復旧に向けた**連携方策**
3. 会員が実施する**訓練への相互参加**
4. その他、必要となる事項

「緊急輸送専門部会」

「連携訓練専門部会」

「南海トラフ巨大地震対策計画専門部会」

⇒連携に向けた具体的な対策を検討

WG

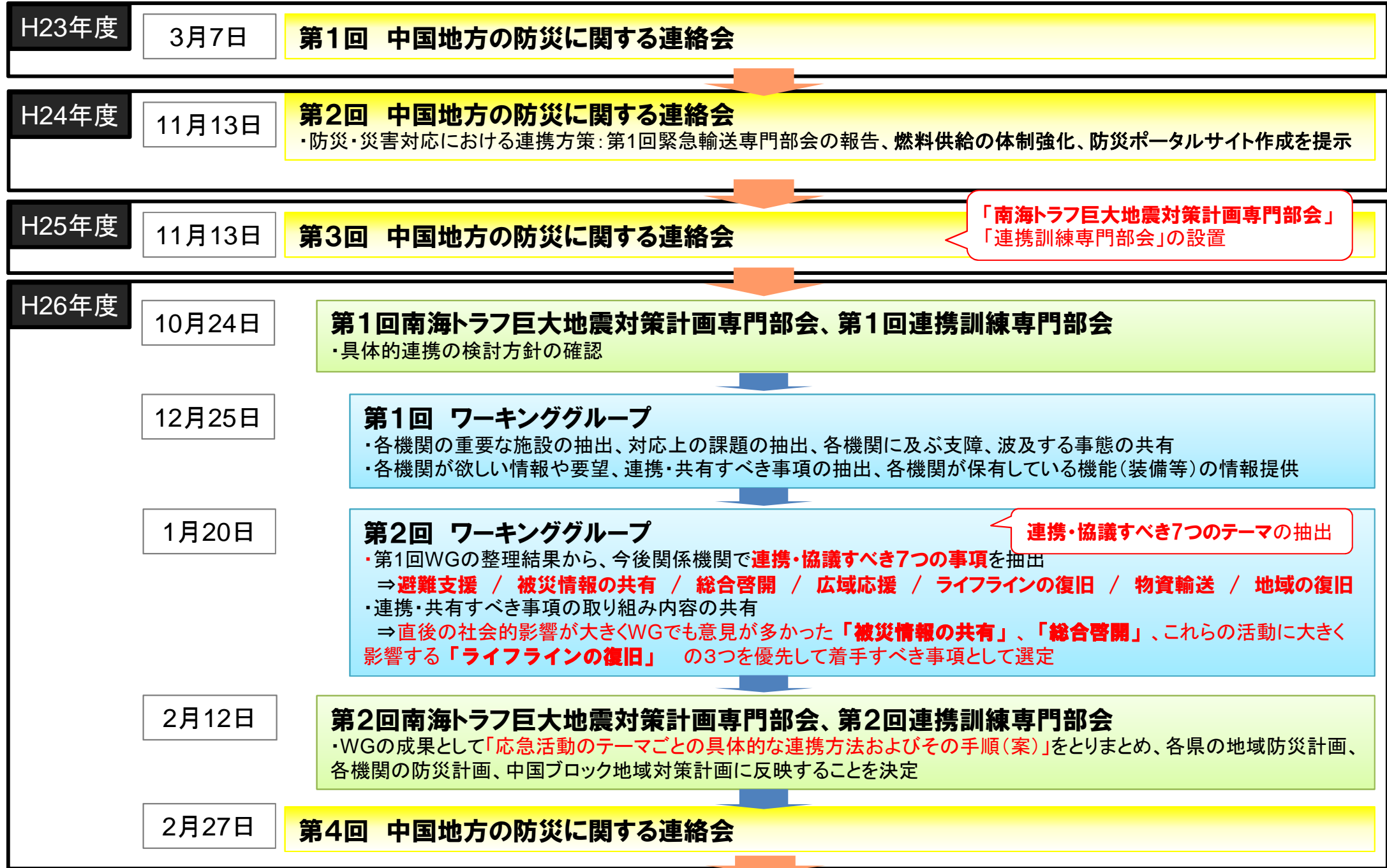
## H25 災害対策基本法 改正

## 平成28年4月 熊本地震

震度7の地震が連続して発生。益城町や西原村、阿蘇地域等で大きな被害が出た。  
⇒**東日本大震災の教訓をが活かされたか、未解決もしくは新たな課題があるか。**

※平成28年10月21日鳥取では震度6弱の地震発生

# ◇これまでの連絡会・専門部会およびWGの検討経緯



# ◇これまでの連絡会・専門部会およびWGの検討経緯

H27年度	11月27日	<b>第3回 ワーキンググループ</b> ・次の4つの事項を連携・協議し、連携方法およびその手順を共有 ⇒被災情報の共有／総合啓開／ライフライン復旧／物資輸送
	1月15日	<b>第5回 中国地方の防災に関する連絡会</b>
	2月3日	<b>第4回 ワーキンググループ</b> ・被災状況の共有：参加機関全体の応急活動の流れを把握できる「 <b>応急活動手順表</b> 」を既成 ・総合啓開(陸上・海上)：啓開ルート選定の基本的な考え方抽出、広島市街地の啓開困難箇所を共有 ※ライフライン復旧は、第3回WG成果を事務局でとりまとめ、後日関係者共有
テーマごとのタイムライン(対応目標)や応急活動図面等を取りまとめ		
H28年度	11月9日	<b>第5回 ワーキンググループ</b> ・以下の3つの事項について課題を協議し、連携方法およびその手順をさらに実効性の高いものとして更新 ⇒熊本地震での活動および振り返り／被災情報の入手・共有／物流機能の確保
	12月12日	<b>第6回 ワーキンググループ</b> ・以下の事項について課題を踏まえた連携方法およびその手順を協議 ⇒熊本地震での活動および振り返り／災害対応体制・手順
	1月18日	<b>第6回 中国地方の防災に関する連絡会</b> ・大規模災害(熊本地震等)における連携した取り組み、鳥取県中部における地震での取り組み、複数機関の連携した訓練の取り組み、平成28年度 第5・6回ワーキングの取り組み報告、中防連の今後の進め方
熊本地震を受けて課題の再抽出「 <b>被害情報の共有</b> 」、「 <b>災害時の体制確保</b> 」、「 <b>複数機関の連携訓練の実施</b> 」を短期・長期的取組として実施すべきことを認識		
「 <b>南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応</b> 」として専門部会・WGにより、情報共有、施策の連携・調整を行い、今後の防災対策のあり方等を検討する方針を設定		
H29年度	10月19日	<b>第2回 緊急輸送専門部会</b> ・被災時の燃料供給の課題と対策、緊急通行車両確認証の発行、運輸事業者団体と自治体間の協定締結、民間物資拠点候補施設の選定、津波を想定した旅客・船舶の緊急避難体制の実証実験に関する現状や課題の認識を共有
	10月19日	<b>第7回 ワーキンググループ</b> ・「 <b>連携(被害情報の共有)</b> 」について、各組織の現状・課題について認識を共有し、具体案( <b>ポータルサイト</b> )を協議
	11月30日	<b>第8回 ワーキンググループ</b> ・「 <b>災害時の体制確保</b> 」／「 <b>複数機関の連携訓練の実施</b> 」の具体的な連携方法や仕組みづくりに向けた意見出し、方針設定を行う
	12月7日	<b>第3回 南海トラフ巨大地震対策計画専門部会、第3回 連携訓練専門部会</b> ・中国地方での <b>応急復旧活動の具体的連携方法およびその手順</b> (被害情報の共有) <b>ポータルサイト案</b> および <b>連携訓練</b> に関する検討方針について
本日	1月18日	<b>第7回 中国地方の防災に関する連絡会</b> ・中国地方の防災に関する連絡会の取り組み、南海トラフ巨大地震に対する取り組み、中国地方の防災に関する連絡会の今後の進め方

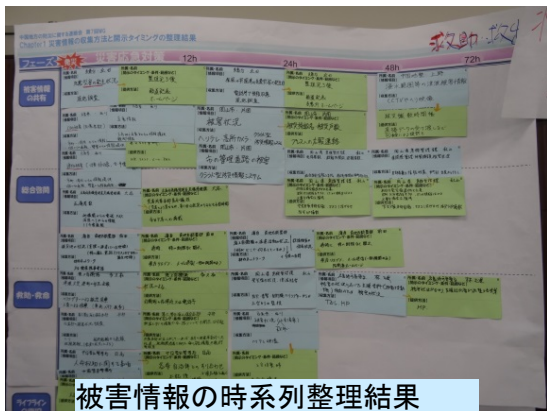
## ◆ 第7回WGの実施内容 (H29.10.19開催、34機関54名参加)

- ▶ 中防連で共有が望まれる被害情報について、収集の流れや開示条件・範囲・タイミングを共有したうえで、「連携(被害情報の共有)」の具体化に向けて、共有方法のアイデアや課題を協議。
- ▶ 情報共有ツールのひとつとして、ポータルサイト案について意見交換。

- ① 「連携(被害情報の共有)」の具体化検討～共有すべき被害情報の確認～：共有すべき被害情報について、各機関の情報収集の流れ、開示の可否や条件、タイミングをフェーズ（目的・用途）毎に明確化し、時系列で整理・共有した。
- ② 「連携(被害情報の共有)」の具体化検討～ポータルサイト～：事務局ポータルサイト案（記者発表、通れるマップ、ライブカメラ、関係機関リンク等）をもとに掲載する内容等について意見交換を行った。
- ③ 「連携(被害情報の共有)」の具体化検討～情報共有方法～：①を踏まえて、情報共有の具体的方法やその課題について各グループで意見をとりまとめ、発表及び全体共有を図った。



開会挨拶(中国地方整備局 江角総括防災調整官)



被害情報の時系列整理結果



情報共有方法の検討  
(全体意見交換状況:岡山県監理課)



ポータルサイト案に関する意見交換



情報共有方法の検討  
(発表状況:C班 NTTドコモ)  
(メーリングリスト・担当一覧の作成)



情報共有方法の検討  
(発表状況:F班 陸上自衛隊第十三旅団)  
(WGメンバーに共有出来る情報有り)



情報共有方法の検討  
(発表状況:B班 広島地方気象台)  
(既存の仕組みを上手く活用)



講評(中国運輸局 柳井安全防災・危機管理調整官)

## ◆ 第8回WGの実施内容 (H29.11.30開催、32機関50名参加)

- ▶ 災害発生直後の関係機関間の体制確保に向け、各機関の最重要事項及び活動エリアを共有し、他機関に求める要望や課題、解決に向けたアイデア等について協議。
- ▶ 連携訓練実施に向け、形式、シナリオ、参加機関等に関する留意点や課題、アイデア等の意見交換。

- ① 「災害時の体制確保」の具体化検討：大規模災害発生直後の円滑かつ効率的な体制確保に向けて、「応急活動手順表（案）（第1版）」等を参考に各機関の応急活動項目や実施手順等を把握したうえで、関係機関の最重要項目、把握エリアを共有。災害時の最重要項目を確認し、対策や支援などの課題解決に向けたアイデアを協議。
- ② 「複数機関の連携訓練の実施」に向けて：次年度以降の連携訓練実施に向け、実施内容、形式・方式、目的（地域別、時系列、行動計画など）の具体化・策定を行う上でのシナリオ構成、留意点や課題等について意見出しを共有。
- ③ ポータルサイト案の具体化検討：前回WGの協議結果を踏まえたポータルサイト案を共有。実運用開始に向けた内容を確認。



開会挨拶(中国地方整備局 江角総括防災調整官)



災害時の体制確保に向けた課題・要望の整理結果



災害時の体制確保  
(発表状況: 通信グループ NTTドコモ)  
(中防連関連機関で情報共有できる仕組みづくり)



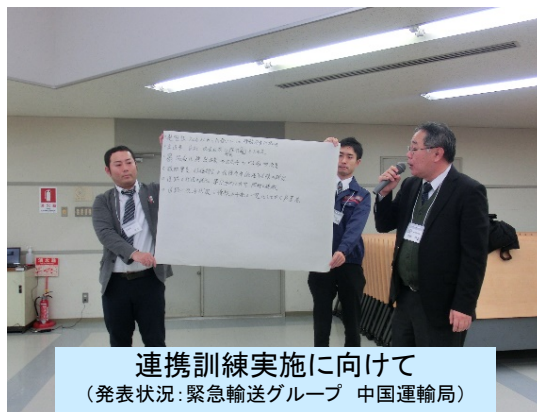
災害時の体制確保  
(発表状況: 道路管理グループ 広島市道路交通局)  
(情報の集約・公表(ポータルサイト、通れるマップ))



連携訓練実施に向けた意見交換



連携訓練実施に向けて  
(発表状況: エネルギーグループ 中国経済産業局)  
(ポータルサイトを活用した情報伝達訓練)



連携訓練実施に向けて  
(発表状況: 緊急輸送グループ 中国運輸局)  
(救助要員・救援物資の指揮命令系統の確認)



講評(中国運輸局 柳井安全防災・危機管理調整官)

# ◇第3回 南海トラフ巨大地震対策計画専門部会、連携訓練専門部会を開催

## ◆第3回専門部会の概要

日時:平成29年12月7日(木)13時30分～14時30分

場所:広島合同庁舎 4号館付属棟2階 海技試験場

出席者:31機関の災害対応の責任者が出席(随行者等を含め約44名が出席)

国の機関	中国管区警察局、中国総合通信局、中国四国農政局、中国経済産業局、中国四国産業保安監督部、中国四国地方環境事務所、中国四国防衛局、中国地方整備局、中国運輸局、大阪航空局、中国地方測量部、広島地方気象台、第六管区海上保安本部
地方自治体	広島県、広島市
公共機関	西日本高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、広島県道路公社、中国電力株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、日本貨物鉄道株式会社、中国地方鉄道協会、中国ハイヤー・タクシー連合会、中国地方海運組合連合会、中国地方港運協会、中国地方倉庫協会連合会、一般社団法人日本ガス協会



専門部会全体の様子

## <専門部会の論点>

- 被害情報の一元化に向けたツールの実運用に向けて(中国地方の防災に関するポータルサイト)
- 複数機関の連携訓練の実施に向けて
- 南海トラフに関するWG概要、気象庁の情報、政府の当面の対応、今後の進め方について

## <主な審議事項>

応急活動手順書(案)の取りまとめ	関係機関で連携・協議すべき7つのテーマのうち、特に関係機関で共有・連携すべきテーマである「被害情報」について、各機関の応急活動内容と絞り込み、活動開始・終了時間の整理を実施。結果を「応急活動手順書(案)」として提示。※但し、熊本地震時の課題整理は再度意見照会を行う。
被害情報の一元化に向けたツールの実運用に向けて	被害情報の一元化に向けたツールとして「中国地方の防災に関するポータルサイト(案)」を提示。H30年度の実運用に向けた調整・検討を進めながら、今後のWGでの検討結果を踏まえた機能追加、更新を行っていく。
複数機関の連携訓練の実施に向けて	第8回WGにてH30年度以降に実施する連携訓練に関する検討、意見交換を実施したことを報告。検討結果を踏まえたシナリオ策定、訓練テーマ・メニューの決定を行い、さらなる連携を深めていく。



開会の挨拶(中国地方整備局 企画部長)



「南海トラフ地震に関する情報」の発表について(広島地方気象台)



意見交換の様子

(会員)応急活動手順書(案)」について、資料の趣旨を踏まえて整理してもらいたい。(事務局)手順書(案)については、再度、関係機関に意見照会した上で、中防連に報告したい。



ポータルサイト(案)の一元化を提示

各機関で共有すべき内容として、被害情報や情報提供のタイミング、防災情報のリンク先、お知らせ、新着情報、通れるマップ、及びカメラ情報といった防災情報発信のサイトを構築中。



- ポータルサイトは平成30年度の実運用化を目指し、関係機関との調整を進め、実効性のあるツールとして整理していきます!
- 平成30年度以降から実施する連携訓練に向け、引き続きWG等を通じて関係機関の連携を深めていき、より具体的、実効性のある訓練メニュー、シナリオを検討していきます!
- 南海トラフ巨大地震における現実的な被害想定検証及びリスクの見える化を行い、リスク回避・除去のためのハード・ソフト方策を具体化・推進することを提案!

## ◇応急活動手順書(案)(第1版)の取りまとめ

**H26年度**

■第1回、第2回ワーキンググループ

- ・今後関係機関で連携・協議すべき7つの事項を抽出、直後の社会的影響が大きくWGでも意見が多かった「被災情報の共有」、「総合啓発」、これらの活動に大きく影響する「ライフラインの復旧」の3つを優先して着手すべき事項として選定

**H27年度**

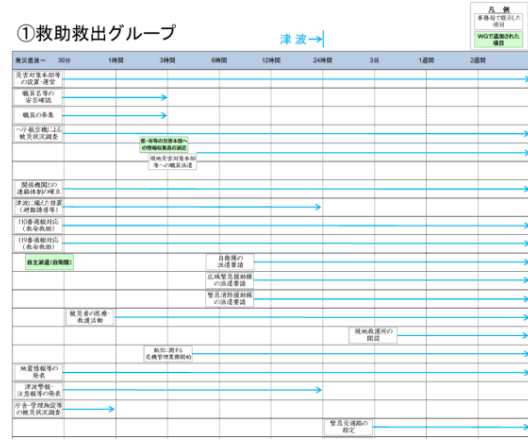
■第3回、第4回ワーキンググループ

- ・「被災情報の共有」を共通テーマとして、災害発生時の各機関の応急活動の内容と時期を整理(第3回WG)、活動内容についてグループワークにて調整し、参加機関全体の応急活動の流れを把握できる「応急活動手順書」を作成

### 第3回WG

テーマ：【被災情報の共有】

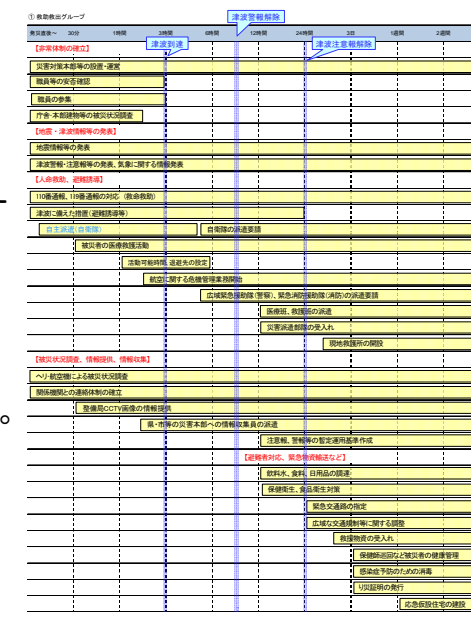
- 各機関が実施される業務で必要となる情報を絞って具体的な共有方法を検討
- 災害時の応急活動内容の絞り込みとその時期(手順表)の整理



### 第4回WG


テーマ：【被災情報の共有】

- グループ毎の「応急活動手順表」について、「活動終了時間の設定」、「活動項目(縦軸)と時期(横軸)」についてグループ間調整を実施
- 参加機関全体の応急活動の大きな流れ(手順)を把握することが可能となった。



### 取りまとめ

- ・『応急活動手順表(第1版)』
- ・『手順毎に必要な重要情報絞り込み(たたき台) ※別添資料』



応急活動手順表(案)  
(第1版)

平成29年3月

中国地方の防災に関する連絡会  
南海トラフ巨大地震対策計画専門部会WG



## ◇熊本地震発生時の振り返り・課題整理、物流機能の確保について

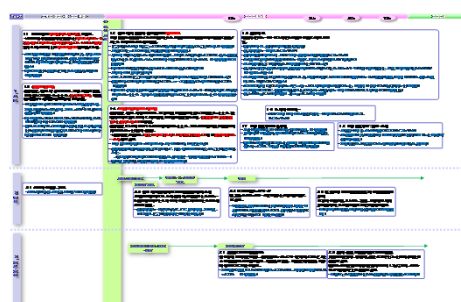
**H28年度 第5回 ワーキンググループ**  
 ・以下の3つの事項について課題を協議し、連携方法およびその手順をさらに実効性の高いものとして更新  
 ⇒熊本地震での活動および振り返り／被災情報の入手・共有／物流機能の確保

**第6回 ワーキンググループ**  
 ・以下の事項について課題を踏まえた連携方法およびその手順を協議  
 ⇒熊本地震での活動および振り返り／災害対応体制・手順

**第5回WG**


テーマ：【熊本地震での活動および振り返り】

○熊本地震等での活動を振り返り、東日本大震災の教訓が活かされているか、新たな課題がないか検証。



テーマ：【物流機能の確保】

○大規模災害時の支援物資の調達・輸送システム、課題、対応方針について意見交換



**第6回WG**

テーマ：【熊本地震での活動および振り返り】

○熊本地震での活動内容、課題、課題解決策に関する提案について各機関から発表、意見交換

国土地理院における災害対応の取り組み概要

各種情報の統合利用・共有化 | 地理院地図で情報提供

災害時の対応検討 | 国土交通省 統合災害情報システム (DIMAPS) への登録 | 地震調査研究推進本部 への提供

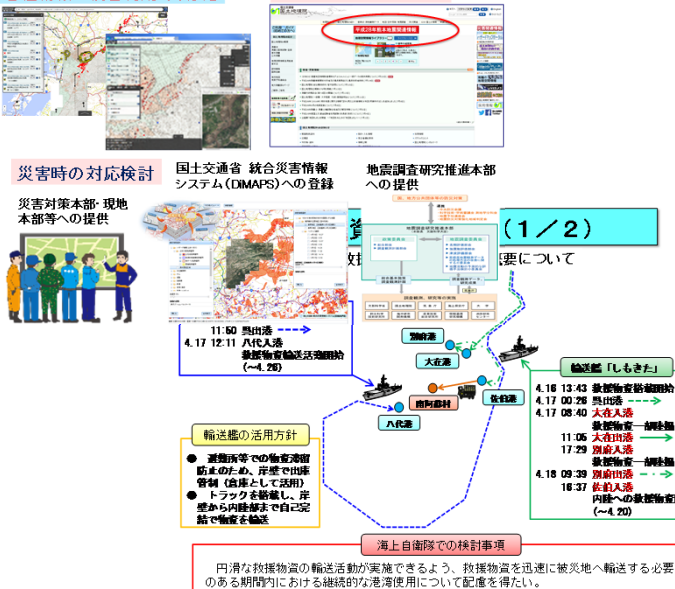
災害対策本部・現地本部等への提供

輸送網の活用方針

- 避難所等での物資滞留防止のため、岸壁で出庫管理（倉庫として活用）
- トラックを総動員し、岸壁から内陸部まで自己完結で物資を輸送


海上自衛隊での検討事項

円滑な救援物資の輸送活動が実施できるよう、救援物資を迅速に被災地へ輸送する必要がある期間内における継続的な港湾使用について配慮を得たい。



**取りまとめ**

・『応急活動手順表（第1版）』に熊本地震時の活動内容・課題について反映



## 平成29年度 中国地方の防災に関する連絡会の取り組み報告

- ・被災情報の一元化に向けた  
ツールの実運用について  
(中国地方の防災に関するポータルサイト)

(中国地方整備局)

# ①被災情報の一元化に向けたツールの実運用について

## ◇中国地方の防災に関するポータルサイトの整備

H28年度

### 第5回、第6回 ワーキンググループ

・「**災害情報の入手・共有**」「**災害対応体制・手順**」「**熊本地震での活用・振り返り**」では、各機関が迅速・効率的な防災業務や活動を行うための情報の共有に関して有力なツールの1つの手段として、中国地方の防災に関する連絡会の参加機関間で共有できる**ポータルサイトの整備**に関する意見が多く挙げられた。

⇒「**被災情報の共有、一元化**」、「**情報共有の様式の統一**」、「**地図情報の共有**」のための**ツールの整備**



H29年度

### 第7回 ワーキンググループ

・「**中国地方の防災に関するポータルサイト**」の具体案を提示し、実運用化に向けた意見出し・課題の共有

### 第8回 ワーキンググループ

・第7回の意見等を踏まえて改良案を提示。**運用体制**や**追加機能**に関する意見交換

### 【中国地方の防災に関するポータルサイトの整備に関する主な意見】(第7回、第8回WGにて検討)

#### <掲載情報について>

- ・各機関のリンク先とカテゴリの精査
- ・防災活動において重要な情報である映像情報(ライブカメラ、ヘリ映像、UAV等)の共有
- ・道路の通行止、迂回路情報の共有

#### <追加機能について>

- ・関係者問い合わせ先一覧情報の共有
- ・各機関の対応、掲載情報を共有可能な掲示板機能
- ・PC、スマホへの情報更新通知機能

#### <サイトの運用について>

- ・目的・用途の明確化
- ・公開・非公開情報の区分けを整理
- ・セキュリティの確保(ID・PWによる制御)

#### <その他>

- ・携帯電話での閲覧に対する対応
- ・サイト管理者の設定

# ①被災情報の一元化に向けたツールの実運用について

H29年度

## ◇中国地方の防災に関するポータルサイト(案)の構築

### ①トップ画面

中国地方の防災に関するポータルサイト

H26.8  
広島市豪雨災害

安佐南区八木地区の土砂災害現場における道路啓開状況

緊急情報 南海トラフ大地震発生による対応状況  
2017.10.01 00:00

記者発表

- 中国地方整備局
- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県

お知らせ

- 2017.10.01 00:00 ○○○○○○○○○○のお知らせ
- 2017.10.01 00:00 ○○○○○○○○○○のお知らせ
- 2017.10.01 00:00 ○○○○○○○○○○のお知らせ
- 2017.10.01 00:00 ○○○○○○○○○○のお知らせ

中国地方の防災に関する連絡会

○通れるマップの共有

○カメラ映像へのリンク

○ID、パスワードによりセキュリティ確保  
⇒担当者連絡先一覧  
⇒掲示板ページ など

○記者発表、お知らせ情報の閲覧

# ①被災情報の一元化に向けたツールの実運用について

H29年度

## ◇中国地方の防災に関するポータルサイト(案)の構築

### ②各機関へのリンク画面

○中防連関係機関の  
防災情報配信ページへのリンク

中国地方の防災に関するポータルサイト

中国地方の防災に関するポータルサイト

〇〇災害通れるマップ

すべて含む

**現況・予報**

- 気象**
  - 広島地方気象台
  - 福岡管区気象台
- 地震**
  - 気象庁
- 津波**
  - 気象庁
- 河川**
  - 高知県 (河川課)
  - 高知県 (河川課)
  - 岡山県 (河川課)
  - 広島県 (河川課)
  - 山口県 (河川課)
  - 岡山市 (下水道河川計画課)
- 土砂災害**
  - 気象庁

**インフラ**

- 道路交通**
  - 高知県 (道路企画課/道路建設課)
  - 高知県 (道路維持課)
  - 岡山県 (道路整備課)
  - 広島県 (道路整備課)
  - 山口県道路整備課
  - 西日本高速道路
  - 本州区経連絡高速道路
  - 広島県道路公社
  - 広島高速道路公社
- 海上交通**
  - 海上保安庁 第六管区海上保安本部
  - 海上保安庁 第七管区海上保安本部
  - 海上保安庁 第八管区海上保安本部
  - 中国旅客船協会
  - 全国海運組合連合会
  - 日本港運協会
- 公共交通・物流**
  - JR西日本
  - 日本貨物鉄道
  - 中国バス協会
  - 中国ハイヤー・タクシー連合会
  - 中国トラック協会
  - 日本倉庫協会
- ライフライン**
  - 中国電力
  - 電線開港
  - 日本ガス協会
  - 日本コミュニティガス協会
  - 日本LPガス協会連合会
  - 全国石油販売組合連合会
- 通信**
  - 中国総合通信局
  - 西日本電信電話
  - NTTドコモ
  - KDDI
  - ソフトバンク

**災害・防災**

- 国の機関 総合災害情報**
  - 中国管区農林省
  - 中国内務省
  - 中国内閣府
  - 中国経済産業省
  - 中国経済産業保安監督部
  - 中国地方整備局
  - 中国運輸局
  - 大塚航空局
  - 中国地方消防部
  - 中国内閣府地方環境事務所
  - 中国消防防衛局
  - 自衛隊広島地方協力本部
  - 陸上自衛隊第十三旅団
  - 海上自衛隊呉地方隊
- 県・市 総合災害情報**
  - 高知県
  - 高知県
  - 岡山県
  - 広島県
  - 山口県
  - 岡山市
  - 広島市
- 海上の災害・事故**
  - 海上保安庁 第六管区海上保安本部
  - 海上保安庁 第七管区海上保安本部
  - 海上保安庁 第八管区海上保安本部
  - 中国旅客船協会
  - 全国海運組合連合会
  - 日本港運協会

中国地方の防災に関する連絡会

# ①被災情報の一元化に向けたツールの実運用について

H29年度

## ◇中国地方の防災に関するポータルサイト(案)の構築

### ③ライブカメラ情報配信画面

○県別のカメラ情報の閲覧

○カテゴリ別のカメラ情報の閲覧

中国地方の防災に関するポータルサイト

The screenshot shows a web interface for live camera information. On the left is a sidebar menu with categories: '中国地方ライブカメラ情報' (Chugoku Region Live Camera Information) listing prefectures (Tottori, Simane, Yamaguchi, Hiroshima, Yamaguchi), '沿岸ライブカメラ' (Coastal Live Camera) listing various coast guard offices, '河川ライブカメラ' (River Live Camera) listing river management offices, and '道路ライブカメラ' (Road Live Camera). The main content area is titled '広島県 ライブカメラ' (Hiroshima Prefecture Live Camera) and includes filters for '沿岸' (Coast), '河川' (River), and '道路' (Road). A map of Hiroshima Prefecture shows five camera locations marked with red circles and numbered 1 through 5. Below the map are buttons for each location: ①上根バイパス, ②上瀬野地区, ③田万里バイパス, ④竹原市新庄地区, and ⑤東広島・呉自動車道. A blue callout box with an arrow points to the map area, containing the text '○ライブカメラ情報の集約化' (Integration of Live Camera Information).